

人を対象とする医学系研究に関する情報公開

資料 1

日本専門看護師会がん看護分野に所属しているがん看護専門看護師の有志で、「がん看護における災害看護の意識を高めることに関する研究」を行なうことになりました。福島県立医科大学の倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。本研究にご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 27 年 10 月

福島県立医科大学看護学部療養支援看護学部門
講師 三浦 浅子

【研究課題名】

がん看護における災害看護の意識を高めることに関する研究
～災害復興期のがん患者の災害に対する備えを考えるセミナーの開催～

【研究期間】

倫理審査承認後（平成 27 年 10 月） ～ 平成 29 年 3 月（1 年 6 月間）

【研究の意義・目的】

平成 23 年 3 月 11 日に起きた東日本大震災から 4 年が経過している。災害サイクルでは急性期、亜急性期が過ぎ、復興期にあたり、次の災害への備えを充実させる時期である。この復興期に、災害看護に関する基本知識を得ると共に、大規模災害で被災したがん患者の実際を振り返ることや、がん患者の災害に対する備えについて考えることは意義深いことである。研究班員が所属する日本専門看護師協議会のがん看護分野では、平成 25～26 年度の 2 年にわたり、特別セミナーとして「災害とがん看護」を取り上げている。第 1 回目は関東地域（埼玉県）で主にごん看護専門看護師を対象に東日本大震災での災害看護の実際と課題を検討した。2 回目は東北地方（宮城県）で、東日本大震災での災害看護の体験を振り返り、がん患者の備えを考えるというセミナーを開催した。その結果、災害看護を体験した看護師はいろいろな思いを持っており、セミナー等の意図的な機会がなければ、日常に埋没しやすく、被災地だけでなく各地で継続的な開催が必要と考えられた。そこで、平成 27～平成 28 年度に、大規模災害から長く経過した地域や大規模災害体験が乏しい地域等において、「災害とがん看護」というセミナーを企画した。研究目的は、セミナーでの意見交換会の語りやセミナー後のアンケート用紙に書かれた記述内容の分析を行うことで、今後起こりうる災害に備え、がん患者支援体制の構築を推進するために共有できる情報やがん患者支援のあり方に示唆を得ることである。

【研究の方法】

研究班員でセミナー内容を検討し、セミナーを企画する。セミナーでは、①災害サイクルと災害看護、②大規模災害での災害看護の実際、③がん患者の備えのための対策について講演を行なった後に、参加者の意見交換会を行なう。そして、セミナー参加者から講演や意見交換会の満足感をアンケートでお尋ねし、その理由を自由記載してもらう。意見交換会では、研究班員がどのようなことが話されたかについて記録をとらせていただくものとする。この記録とアンケートの自由記載の内容を意味内容でカテゴリ化し質的分析をおこなうことである。

1. 平成 27 年度のセミナー開催について

①日時：10 月 31 日（土）13：30 ～ 16：00

②場所：京都第一赤十字病院 管理棟 5 階 多目的ホール A（収容人数 100 名）

③参加費 専門看護師協議会会員 1000 円 非会員 2000 円

2. 平成 28 年度：大規模災害体験が乏しい地域

セミナー開催場所：大規模災害体験が乏しい地域であるが、南海トラフ地震のリスクが高い東海地域の開催を予定している。セミナー内容については今後検討し、平成 28 年の 7 月頃にご案内をする予定である。

【研究組織、研究機関名】

研究責任者

福島県立医科大学看護学部講師／附属病院看護部がん看護専門看護師 三浦浅子

主任研究者

福島県立医科大学看護学部講師／附属病院看護部がん看護専門看護師 三浦浅子

研究分担者 (所属) (職) (氏名)

菅原よしえ：宮城大学看護学部、田中結美：京都第一赤十字病院看護部

笠谷美保：千葉ろうさい病院看護部、根岸恵：聖隷横浜病院看護相談室

梅田節子：神戸市立医療センター中央市民病院看護部

風間郁子：筑波大学附属病院看護部、岸田さな江：獨協医科大学病院看護部

西谷葉子：京都第二赤十字病院看護部、古沢祐子：国際親善病院看護部

角裕子：京都大学医学部附属病院看護部

村松真実：NPO 埼玉法人「この町で暮らす会むさしうらわ」

【研究試料等の利用と保管に関すること】

本研究で取り扱われる試料（資料）は、セミナー参加者の意見交換会での記録、参加者のアンケート用紙であり、匿名で取り扱われる。研究試料（意見交換会の語りの記述、アンケート集計はパソコンを用いて帳票を作成）は、セキュリティロック付き USB に保存する。研究班員のそれぞれの施設で鍵かかる場所で保管する。

【研究に関する倫理的配慮】

この研究についての説明を受け、意見交換会での語りを記録することを承諾した方、アンケート用紙の記載（約 10 分）にご協力いただいた方が研究対象者となる。本研究への参加・不参加は、セミナー参加者の自由意思によるものであり、参加に同意しない場合又は参加を中止した場合でも不利益は受けないので、セミナーには参加できる。

【本研究に関する問合せ先】

○研究内容に関する問合せの窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1

公立大学法人福島県立医科大学看護学部療養支援看護学部門 担当 三浦浅子

電話：024-547-1857 FAX：024-547-1857

E-mail:amiura@fmu.ac.jp

○個人情報に関する窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1

公立大学法人福島県立医科大学 総務課 大学管理係

電話：024-547-1007 FAX：024-547-1995

○その他ご意見の窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1

公立大学法人福島県立医科大学 研究推進課 研究支援担当

電話：024-547-1825 FAX：024-547-1991

E-mail:rs@fmu.ac.jp